

西れき	年ごう	村のおもなできごと	人びとのくらしのこと
1820	ぶんせい 3	たび開たくして南須釜村の新田とする。 ○南須釜村の南北りょう組が合べいする。また川辺村はばくふのりょう地となる。	○きょう作のため年貢がげんめんされる。
1833	てんぽう 4	○山新田村を南須釜村に合べいする。	○天保のききんがはじまる。
1868	けいお 4	○ぼしんせんそうはじまる。	○ぼしんせんそうにともなう人馬のちょう用はげしく、加えて風水害によってきょう作となり農民大いにこんきゆうする。
1868	めいじ 元	○神ぶつこんこうをきん止する。	
1870	" 3	○平民にみょう字の使用がゆるされる。	
1872	" 5	○旧泉村と須釜村は石川郡にへん入される。	○あぶくま川通船を利用し、年貢米を東京にかいそうする。
1873	" 6	○竜崎小学校かり校しゃを大うん寺に開せつする。 ○川辺小学校かり校しゃを円つう寺に開せつする。 ○はんにゃ寺あとに小高小学校を開せつする。 ○南須釜小学校かり校しゃを小山田小一郎宅に開せつする。 ○北須釜小学校のかり校しゃ東こう寺内に開せつする。	○小高村内にえき病が流行する。 ○川辺郵便局が、おしょう平に開せつされ、業務を開始した。 ○北須釜と小高のきょうかいにあらそいがおこる。
1876	" 9	○福島県となる。	
1877	" 10	○須釜じんじょう小学校を、南須釜のたてざかに開こうする。	
1880	" 13	○川边上、中、下の三カ村を合べいして川辺村となる。	○川辺馬せり市はじまる。 ○川辺宮の前に川辺じゅんさちゅうざい所を開せつする。
1884	" 17	○石川道路がかんせいする。 ○須釜村役場をやなぎ作におく。	○川辺郵便局を宮の前に移転する
1889	" 22	○町・村せいが施行され、川辺村、ひりゅう村、小高村、中村、岩法寺村、竜崎村の6カ村を合べいして泉村となる。	○あぶくま川ぎょ場が竜崎に新せつされる。
1889	" 22	○南須釜村、北須釜村、吉村、山小	○葉たばこ外国へ輸出される。